

神奈川県社協ホームページに掲載しますので、以下に助成事業の概要を簡潔に記入してください。  
 下記に必要事項を記入または○をつけてください。1ページ以内に収まるよう記入してください。

組織・グループ名	NPO法人 まんま
グループの属性	①セルフヘルプグループ・当事者団体等    ②ボランティアグループ等 ③市町村社会福祉協議会及びそれを構成員とする実行委員会等
助成区分 該当テーマ等	①一般助成 ②協働モデル助成 ※②を選択した場合、本会の提示した該当テーマを記入 [ ]
助成事業名	子どもの育ち相談日「ぼれぼれ」

助成事業の概要〔目的・取組み概要・成果や参加者の様子・今後の展望等〕※活動の様子が分かる画像を2枚程度挿入。

【親子の居場所で相談の場の実施】

●ひろば内相談

主に0～3才児連れの親子が集うひろばでコロナ禍で予約制の中、地域で発達障害理解啓発グループのメンバーをピア相談員として配置。子どもを遊ばせながら発達で気になることや不安を話せる場を提供。継続して実施している事や相談員と利用者との関係性も出来てきているなど、相談の予約や相談員を目指して訪れる利用者もいた。引続き相談日は継続して実施し、就園就学しても相談出来る事が重要だ。



●個別相談

主に乳幼児から思春期くらいまでのお子さんを対象とし、別室で個別にピア相談員と話せる場を提供。園や学校生活での悩み、将来についての不安などの悩みが多かった。地域の相談センターとの連携により相談者の紹介やつないだケースもあり、多様な悩みに対応した。また近隣区からの相談や幼稚園からの紹介もありピア相談の場の必要性を実感した。

【勉強会の実施】

コロナ禍でオンラインの実施も検討したが、丁寧に伝えたいことから少人数で参加を募り開催した。

①先輩ママの体験談・テーマ「軽度発達障がいのある子の子育て」

先輩ママの体験談は、参加者の不安や悩みに寄り添った内容となり参加者からは「とても参考になった」と満足度は高かった。今回の参加者から個別相談にもつながった。

②障がい理解勉強会「みんなちがってあたりまえ」

孤立しがちな子育てを地域で見守っていくために、地域に向けての障がい理解の勉強会を実施。講師は相談員でもある障害理解啓発グループのメンバー。支援する方の参加者が多く「知らない事が多く勉強になった」「接し方がわかった」「障害に対するハードルが低くなった」など理解が深まる勉強会が実施できた。



乳幼児連れの親にも伝えたいという事もあり、ひろば内でも見れるようにZOOMで配信した。

【地域ネットワークへの参加（障害者自立支援協議会・まんまるねっと）】

交流会は2回実施。内1回は参加、1回は中止。交流会では以前つながった地域の相談支援室（神奈川県立瀬谷養護学校）と交流ができた。